



日々のつぶやき Vol.18 2017.10.27

■ピント外れの成長神話～期待先行の恐ろしさ～

▶現在の景気拡大局面が58ヶ月に達したらしい。東京五輪の翌年から大阪万博のころまで続いた、かのいざなぎ景気を越える（中略）経済成長率は往年とは比較にならぬ低さである（9月27日付日経春秋より）。

▶誰も彼もが成長できるという前提が間違っています。私は好景気は「衰退」を孕み、低成長には「契機が眠る」と考えています。低成長という枷（かせ）は好況時の「たら・れば」という期待先行（放漫経営）を自然淘汰し、企業に堅実性をもたらします。知恵を絞った創意工夫により次に繋がる基盤を確保できる－低成長は経営者に与えられた布石を打つ契機です。